

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

 会長 大西 和彦
幹事 齋賀 護
会報委員長 曾川 泰廣

お知らせ

- ∴ 8月のプログラム
 - 6 (No.1)-客 話
 - 13 (No.2)-休 会
 - 20 (No.3)-クラブフォーラム
 - 27 (No.4)-夜間例会
- ∴ 他RC例会変更
 - 善通寺 8/12 休会
 - 坂出 8/4→8/2 夏季家族会
 - 8/18 休会
 - 丸亀東 8/11 休会
 - 9/1 ROKUまるがめ
 - 坂出東 8/12 休会
 - 8/19 親睦夜間例会
- ∴ ニコニコBOX;なし
- <ニコニコ会計累積/¥83,000>
- ∴ がんばるBOX;なし
- <がんばる会計累積/¥80,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

■会長挨拶

本日の夜間例会は、地域包括支援センターの奥村様に、認知症サポーター養成講座をしていただき、その後支援センター5名の方々と各テーブルに分かれて食事をしながら認知症に関してディスカッションしていただきたいと思ひます。

■会長報告

丸亀ロータリークラブ細則第3条第1節により指名委員会を設置してよろしいでしょうか。拍手で指名委員会の承認を得たため、指名委員を発表します。現会長の大西、副会長の山内孝茂、直前会長の竹内、直前会長の山内光、5代前の後藤、10代前の眞鍋、15代前の篠原元会長に変わり14代前の山田元会長です。拍手で承認をお願いします。全員の拍手ありがとうございました。では、9月3日例会ならびに理事会終了後指名委員会を開催しますので関係者はよろしくお願ひします。

■例会事業;夜間例会;「認知症を考える」;オークラホテル丸亀

【認知症サポーター養成講座】

 丸亀市健康福祉部高齢者支援課
地域包括支援センター 奥村 登士美


認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったりして脳の司令塔の働きに不都合が生じ、様々な障害が起こり、生活する上で支障がおよそ6ヶ月以上継続している状態を指します。その症状としては、記憶障害・理解判断力の低下・実行機能の低下といった中核症状があらわれます。これに対し、本人の性格・環境・人間関係等の要因が絡み合って精神症状や日常生活における行動上の問題が起きてくる事があり行動心理症状と呼ばれます。このほか認知症にはその原因となる病気によって多少の違いはあるものの様々な身体的症状もでできます。特に血管性認知症の一部では 早い時期から麻痺等の身体症状を合併する事があります。アルツハイマー型認知症でも進行すると歩行が拙くなり、終末期まで進行すれば寝たきりになってしまう人も少なくありません。このような認知症は75歳以上になると発症率が高くなるとされ、近年の日本の高齢化率の上昇を考えると今後ますます増加してゆくと思ひられます。国の推計では2025年には65歳以上の高齢化率は20%とされ、当丸亀市においても同年には25.78%と予測されています。又、丸亀市の高齢者を取り巻く状況としては、高齢化の進展一人暮らしおよび高齢者夫婦世帯の増加、認知症高齢者数の増加があげられます。このような中で認知症施策推進の必要性がでてきました。その目指す姿としては『認知症があっても住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らす』事です。

(裏へ続く)

2015.8.27

Vol.53

No8

(2577)

施策として、認知症ケアパスの作成普及、認知症予防と備えの推進、認知症の人家族への支援体制の整備、認知症の人家族を支える地域づくりの推進を行っています。これらの事を進める人材養成として【認知症サポーター養成講座】があります。認知症サポーターとは「なにか」特別な事をする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る事による認知症の人や家族の【応援者】です。このような認知症サポーターがふえてゆく事はとても大切な事です。認知症サポーター養成講座は職場や仲間地域で5人以上集まれば開催できますので地域包括支援センターまでご連絡ください。そして、認知症になっても安心して暮らせる地域となりますようご協力ください。

公演を聞いた後、地域包括支援センターの方々と食事をしながら、認知症について理解を深めました。



■次週の例会プログラム クラブフォーラム;青少年奉仕委員会
丸亀警察署生活安全課長 廣瀬和仁様
「青少年非行の現状」